



城島食育まつりで発表する浮島小学校と浮島保育園の皆さん

健全な食生活への理解の促進、地域特有の食文化の継承に向けて

# 市民参加型の食育まつりを開催し 市民みんなが参加する「食育」を推進

城島町 城島食育まつり ほか

すすめよう食育



小中学生による食育についての研究成果を  
展示しました。(写真は城島小学校)

久留米市では平成19年に食育推進  
プランを策定し、「市民みんなが参加  
する食育」「農業生産都市の特性を活  
かした食育」「久留米の地域資源を活  
かした食育」の3つの視点から食育を  
推進しています。  
市では、「市民みんなが参加する食  
育」を実践するため、毎年「食育まつ  
り」を開催しています。  
平成21年度は、8月に久留米市民会  
館で「食育祭inくるめ」、1月に城島  
総合文化センターで「城島食育まつ  
り」を開催しました。

市民との協働で  
楽しみながら学ぶ  
食育祭を開催



## 小中学校の児童生徒や 保育園児による 食育の学習発表会

城島食育まつりは、「食の安心・安全と地産地消を考えよう」をテーマに、市民参加型の催しとして開催しました。

城島地域の小中学校の児童生徒や保育園児が、日々学んだ食育の学習発表会を行うとともに、学習内容を取りまとめたパネル等の展示を行いました。

また、地域で生産された米粉や野菜などを使用した「米粉かき揚げうどん」、「米粉あんかけ皿うどん」、「米粉チヂミ」、「野菜たっぷり豚汁」、「つやおとめのご飯」、「あまおうゼリー」、「米粉パン」などの試食会では来場者が長い列を作りました。

城島食育まつりは、城島地域の様々な団体の協働により実施され、城島地



域の「食」と「農」を市民に大きくアピールすることができた市民参加型のイベントとなりました。

## 農業生産都市にしか できない体験型の 食育を展開

市内の小中学校の多くは、地域の農業者から指導を受けながら、米、さつまいも、野菜などを栽培する学童農園活動を実施しています。

城島地域等では、小学校の児童と地域の農業者が協働して、じゃがいもを栽培し、収穫したじゃがいもは学校給食の食材として利用しています。

また、上津小の「藤山梨」、安武小の「あまおう」など地域の特産品を育て、地域の農業について学習している小学校も多数あります。



(上) 城島食育まつりの会場となった城島総合文化センターの観客席は、多くの来場者で満員となりました。

(中) 久留米市食生活改善推進員協議会による「米粉チヂミ」は美味しいと評判でした。

(下) 城島食育まつりでは、城島地域の農産物をたっぷり使用した料理の試食会が行われました。

これらの取り組みは、農業生産地であり消費地でもある久留米市ならではの体験型の食育であり、幼少期における豊かな人間性の形成、健全な心身づくりに大きく貢献しています。

## 市民の食育への関心を高めるために 「食育友の会」を設立

市では、市民一人ひとりの食育への関心を深めることを目的に平成20年度に「食育友の会」を設立し、随時、会員を募集しており平成22年3月現在、会員数は235名となっています。

会員に登録すると、食育や農業に関する情報や催しの内容が、郵送や電子メールなどで届くとともに、他の自治体で開催される食育イベント等への見学会にも参加することができます。

今後は、会員の交流会などを開催し、情報の交換や新しい活動へとつなげていきたいと考えています。

○「食育友の会」へのお申込み・お問合せ先は

久留米市農政課 電話0942-30-9163



(上) 武雄市で開催された「たけおの食育まつり」を見学する食育友の会の皆さん。(下) 昼食は地産地消のバイキング料理を味わいました。